

事務事業名	遊休農地活用支援事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6034													
			所属課室	農林振興課		課長名	野田栄志													
			所属担当	農政計画担当		担当者名	伊藤喜久夫													
基本政策	基本計画	Ⅱ	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目									
		07	農林水産業の振興		01	一般	0	6	0	1	0	3	0	6	0	0	3			
政策	体系	12	生産を支える基盤の整備充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金															
施策																				
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠	南アルプス市遊休農地等流動化促進事業奨励補助金交付要綱															
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・農地の荒廃防止と流動化を促進し、農地の有効利用を図る ・農地流動化推進委員(農業委員37名)を窓口として、遊休農地に関する情報収集 ・遊休農地の所有権移転又は5年以上の利用権設定に対して奨励補助金を交付 ・上記奨励補助金制度の利用啓発としてのパンフレットの作成及び配布 ・奨励補助金の実績 平成22年度:申請(29件) 補助金額(2,429,995円) 対象面積(46,263㎡)				事業費の主な内訳 (22年度)															
					項目(細節)				金額(千円)				項目(細節)				金額(千円)			
					報償金				111											
					その他補助(市)				2,430											
					その他補助(県)				4,500											
													計				7,041			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	対象要件該当者に奨励補助金の交付
23年度活動予定	対象要件該当者に奨励補助金の交付
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
遊休農地	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
遊休農地の減少	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
優良農地の確保	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア申請件数	件数
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア遊休農地面積	ha
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア解消農地面積	㎡
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア延解消農地面積	㎡
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円		4,500				
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,859	2,541	1,611	1,611	1,611	
	事業費計 (A)		千円	1,859	7,041	1,611	1,611	1,611	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	
		人件費計 (B)	千円	1,071	1,071	951	951	951	0
		(A)+(B)	千円	2,930	8,112	2,562	2,562	2,562	0
	活動指標	アイウ	件数	23.0	29.0	15.0	15.0	15.0	
対象指標	アイウ	ha	209.3	204.0	200.0	198.0	195.0	195.0	
		㎡	41,386.0	46,263.0	22,952.0	22,952.0	22,952.0	22,952.0	
成果指標	アイウ	㎡	148,163.0	194,426.0	217,378.0	240,330.0	263,282.0	286,234.0	
上位成果指標	アイ	㎡							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	農地の荒廃防止と流動化を促進し、農地の有効利用を図ることを目的として平成15年に要綱を設置。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	毎年平均10件ほどの申請があるが大きな変化は無い
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市HPやパンフレットの組回覧等にて事業の周知を行った。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	市HPやパンフレットの組回覧等にて事業の周知を行った。

事務事業名	遊休農地活用支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 農地の流動化により遊休農地の解消を図り農産物の生産を増やすことは農業振興施策に結びついている	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 農業振興施策に結びついている	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 農業振興施策に結びついている	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 荒廃した遊休農地を農地として再生するには経費が必要であり、生産を支える基盤整備の支援策として必要である。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 遊休農地が増えることは農業の衰退に繋がる	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 遊休農地の減少に努めているが、現状では増えていることが問題である	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 業務は兼務のため削減余地は無い	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 農業振興施策に結びついており公平である	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	遊休農地の流動化を奨励し、遊休農地の解消につなげる事業である。今後は、交付対象農地の有効活用の状況把握に努める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					